

就園前の子育て支援に関する  
ワークショップ実施報告書

平成 31 年 2 月 生駒市

## 目次

I	ワークショップ開催概要 .....	1
II	各ワークショップの内容 .....	2
	1 第1回目 .....	2
	2 第2回目 .....	12
	3 第3回目 .....	19
III	まとめ（各グループから出された提案） .....	24
	コーディネーターコメント .....	27
	閉会あいさつ.....	28
	資料 .....	29

# I ワークショップ開催概要

## ●事業の背景

教育大綱に基づき、「就学前教育・保育のあり方に関する基本方針」を策定、主に幼稚園、保育所、こども園のあり方について方向性を示したところであり、さらに、幼稚園・保育所などに行く前の段階の家庭や地域での子育て支援について、

1. 人や自然と関わる経験の減少など子どもの生活の変化
2. 地域におけるつながりの希薄化
3. 子育てに不安や悩みを抱える保護者の増加・孤立化など

今日的課題に対応する必要がある。

## ●目的

保護者のニーズ(何を求めているのか)等を踏まえ、就園前の子育て支援についての考え方、方向性を検討するため、ワークショップを開催する。

## ●趣旨

1. 就園前の子育てにおけるそれぞれの立場の保護者のニーズを把握する
2. ニーズに対応した支援のあり方について考える
3. 地域住民等が主体となった支援の取組の具体化に向けたきっかけとする

## ●参加者

保護者、地域住民、保育・教育関係、市民団体など 20 人程度

## ●ワークショップの実施概要

### 第1回目

日時：平成 30 年 12 月 3 日(月)9 時 30 分～11 時 30 分

場所：生駒市コミュニティセンター 会議室

### 第2回目

日時：平成 30 年 12 月 20 日(木)9 時 30 分～11 時 30 分

場所：生駒市コミュニティセンター 会議室

### 第3回目

日時：平成 31 年 1 月 9 日(水)9 時 30 分～11 時 30 分

場所：生駒市コミュニティセンター 会議室

## Ⅱ 各ワークショップの内容

### 1 第1回目

#### (1) 目標

- ・ それぞれの立場から、ニーズや課題を確認する

#### (2) ワークの内容

- ・ 支援のニーズや課題の出し合いと整理  
※グループは立場別(保護者、地域住民、保育・教育関係、市民団体)に編成

#### (3) プログラム

- ・ 開会
- ・ ワークショップの趣旨説明
- ・ プログラムの説明
- ・ コーディネーターからのアドバイス
- ・ グループワーク
  - ・ 自己紹介
  - ・ 支援のニーズや課題を出し合う
- ・ グループ発表
- ・ コーディネーターからのコメント
- ・ 閉会・アンケート記入

#### (4) 出されたニーズや課題

##### グループA(保護者)

###### ●情報収集

- ・ 一時保育、園によって違いがあるけど一気に説明会があれば助かる
- ・ 保育園、幼稚園の募集の流れなど説明を聞ける機会があれば
- ・ 情報を一度に
- ・ 交流の場もかねて情報提供してもらえたら一石二鳥

###### ●施設(ハード)の要望

- ・ 図書館の横(つづきで)みっきみみたいな施設がほしい
- ・ 生駒の絵本作家の、公園か施設がほしい(福井のカコサトシ館)
- ・ トランポリンが欲しい(公園の中に)
- ・ 就園児と未就園児と一緒に遊べる室内施設がほしい

###### ●イベントの要望

- ・ 託児付きのイベント増やして欲しい
- ・ 乳がん検診、市民検診を託児付きにしてほしい
- ・ 1歳になって以降のイベントがあったら嬉しい(ゆうゆうひろばみたいな)
- ・ てくてくのイベント定員が少ないので同様のものとか…

###### ●悩み

- ・ 参加してもうまく場になじめず、次から参加しなくなる人もいる
- ・ 参加しやすくなるようなサポートやキャッチフレーズがあればもっと参加者が増えると思う
- ・ 地域(近所)のママともっと交流したい
- ・ みっき：最初は知らない人ばかりで行くのがしんどい
- ・ サロン：人見知りだとうまく話せない
- ・ 新しいママ友ができにくい
- ・ 輪ができていると入りにくい時もある
- ・ フォローや初めての人でも参加しやすい工夫がほしい

###### ●地域のママ友との交流

- ・ おばあちゃんと子育て親子がお茶をのんでゆっくりできる場所がほしい  
(←京都であった 上京区)
- ・ 幼稚園に入るまでに、幼稚園になれさせる場を学区内に欲しい
- ・ 地域ごとの集まりが欲しい
- ・ 近所にそれぞれ自治会館があるのに子どものイベントがなさすぎる(せっかく近くで行きやすいのに)

- 使っていない自治会館もったいないので子育てのイベントなどがあれば
- 住む地域によって偏り。自分の住んでいる近くはない…とか
- 近所に同世代の子がいるのに、その人たちはみっきで見かけたことがない

## グループB(地域住民)

### ●場所

- ・ リスクがあるので専用の場所あった方がいい
- ・ 預かり保育！
- ・ 子どもを急遽あずかってくれる場所(美容室とかに行きたいから等々)
- ・ 公共性のある場所
- ・ 実家の様な場所
- ・ 実家のかわりになる場所！

### ●人

- ・ ボランティアの熱量
- ・ 高齢者の活用！託児所
- ・ ボランティアのむずかしさ

### ●情報

- ・ 個人情報のカベ
- ・ SNS やメーリングリストと発信力
- ・ スマホを使用して発信する
- ・ 個人情報の公開と共有のルール！
- ・ つながりと個人情報
- ・ 自治会の力

### ●つながり

- ・ 出てくることができない人の理由は？
- ・ 寺子屋(地域の教育システム)
- ・ 教えの伝承
- ・ 市全体で行えること
- ・ 地域の知！を共有する
- ・ 子育ての横のつながりを考える
- ・ 参加できない人をどの様にして探すのか？

### ●その他

- ・ 経済・場所・時間
- ・ 支援が近くにあれば
- ・ 善意の方向性が一致するのか？
- ・ 子供づれ・メンタルの余裕・忙しい・車ない
- ・ 食事の用意・近く・いつも
- ・ 方向性の統一

## グループC(保育・教育関係)

とかいなかイコマ

### ●市民

- ・ 教育熱心な人が多い
- ・ 子どもには関心がある人が多い(ボランティア活動をする人、保護者)
- ・ ボランティアが活発
- ・ 子連れでいると町中で声をかけてくれる人が多い

### ●ママ

- ・ 有能な技術をもったママが多い
- ・ ひとりぼっちで子育てをしているママが多い
- ・ 外に出にくい親子がいる
- ・ 育児サークルに参加してくれない
- ・ 育児サークルが育ちにくい
- ・ 遊びに行ける場所(みっき、園庭)などを知らない保護者の方が多数いる

### ●パパ

- ・ イクメンが多い(様な気がする)
- ・ パパは大阪へ行って昼間(母子カプセル)
- ・ パパが参加できる
- ・ パパにプラレールひろば良い

### ●幼児～子ども

- ・ 仕事をしている為、土・日曜日にみっきランドに連れて行きたくても0～2なので行けなかった(雪の中行けたけれど、4才がいたのでダメだった)
- ・ 2歳児の行きやすい場所、室内広場が少ない
- ・ 中学生まで医療費控除
- ・ 小中学生の居場所が少ない
- ・ 乳幼児限定でなく兄弟一緒に遊べる場所がない
- ・ 校庭を全ての子どもに開放して！！↓

### ●施設

- ・ 子どもの病院が多い
- ・ 0～2才の子どもが利用できる施設が少ない
- ・ 支援が中地区にかたよっている
- ・ 子育てに困っている保護者の方を早く見つけることができるようになった(行政の方にもつなげられる)



- ・ 地域の公民館がお年寄しか使えない
- ・ ベルテラスを活用してほしい
- ・ 図書館充実
- ・ 土・日もみっきは空いている
- ・ それぞれの住んでいる地域で集まれる場所(公民館など)を open にして保護者にほっとする場所を作ってほしい

### ●行政

- ・ 行政の方が子育てに関して目を向けて下さるようになった
- ・ 子育て支援が手厚い
- ・ 0~1歳 市の広場や講座たくさんあって友人づくりできる
- ・ 幼稚園・保育園でも先生たちの想いが厚い
- ・ こども課対応バラつきがある(返事あいまい、そっけないなど)
- ・ 1つの窓口で色々聞けるところがない→ファミサポもアズママも同じように説明できるとか
- ・ 保育園 0才待機中、兄弟加算は同園しかない
- ・ 保健課、子育て支援など同じようなプログラム(教室)が重なって並んでいる。市としてタテに行事を

### ●公園

- ・ 草ボーボーの公園多い
- ・ 公園が少ない
- ・ あつまれる公園がない
- ・ 親水公園がない
- ・ 町中の公園に人がいない(道具少ない)
- ・ 使用されていない公園が多数ある。お母さんお父さんが子どもをつれて気軽に行ける場所に！！

## グループD(市民団体)

### ●年代のギャップ

- ・ 年代のギャップ(母親)

### ●親が大人と話せる機会

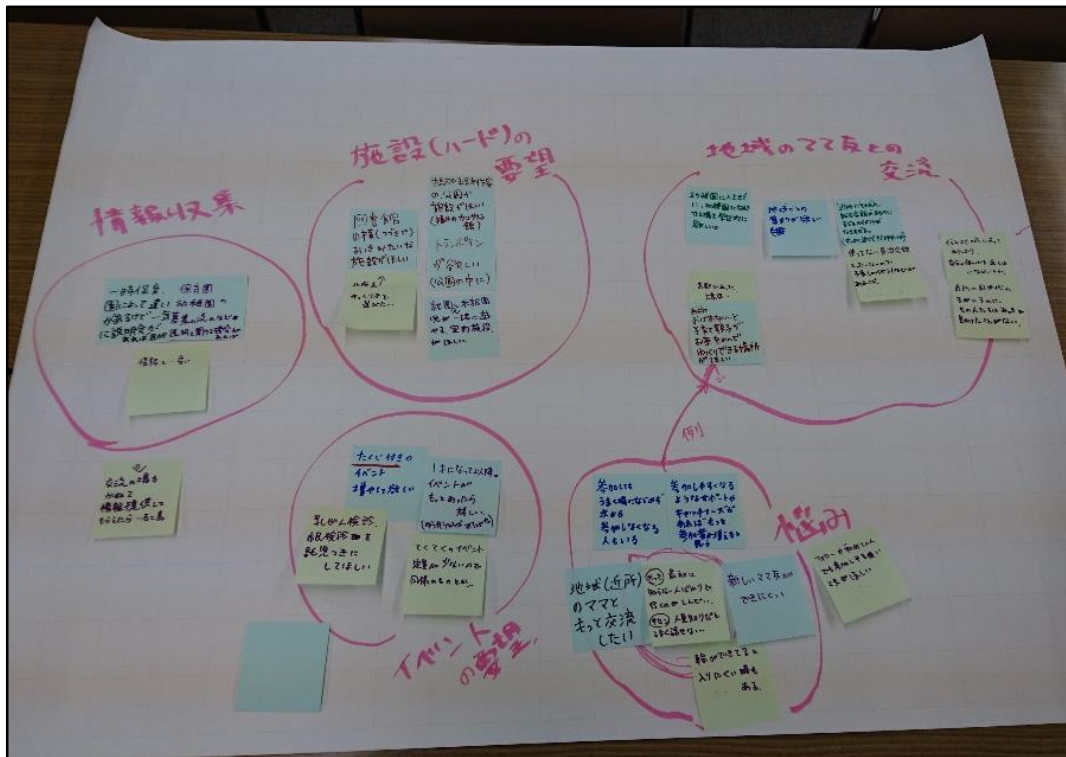
- ・ 親が大人と話せる機会(子どもを預けて)
- ・ 生活支援相談の増加傾向、相談員の人員不足(相談実績)2882件(H29)
- ・ 保育園入園に関する相談が多い
- ・ 少し母が1人になれる場所が必要
- ・ 子どもから離れてほっとできる場所を求めておられるのではないかな？
- ・ 親がリフレッシュできる場所
- ・ 気軽に立ち寄れる場所
- ・ 子育てしている中でちょっとした悩み！
- ・ 母親が話しやすい年代別のグループの場(相談しやすい)
- ・ 相談の多種多様化
- ・ 近所で子育てしている仲間、友達がいない
- ・ 人との関わりが難しい保護者増
- ・ 園庭開放等ひろば的なものに出てくることのできない親子をどう拾っていくかな？
- ・ 待機児童が減らない中、保育園に入れなかった親子はどうしているのかな？
- ・ 事業(教室やひろば)に参加されない方とのつながり

### ●体験の共有

- ・ 0才からのコンサート etc. 他事業とのコラボ
- ・ BPプログラム(生後5ヶ月まで)
- ・ 子育てに対する情報がどこにあるのかが分かりにくい
- ・ みっきランドを拠点に情報発信
- ・ 父親の情報収集できるもの
- ・ 併行通園、連携強化必要。幼、保、こども園との連携(就園前ではないが)
- ・ 過保護というよりか干渉されている感がある
- ・ 正解を求める生徒が増えている
- ・ 子どもの年齢・母親の年齢
- ・ 場所、時間の制約
- ・ “普通になりたい”親が多い
- ・ お母さんたちのニーズが反映しづらい
- ・ 子育て支援にかかわりたくても人手的に難しい。地域の手が必要
- ・ 人手不足

(5) 成果

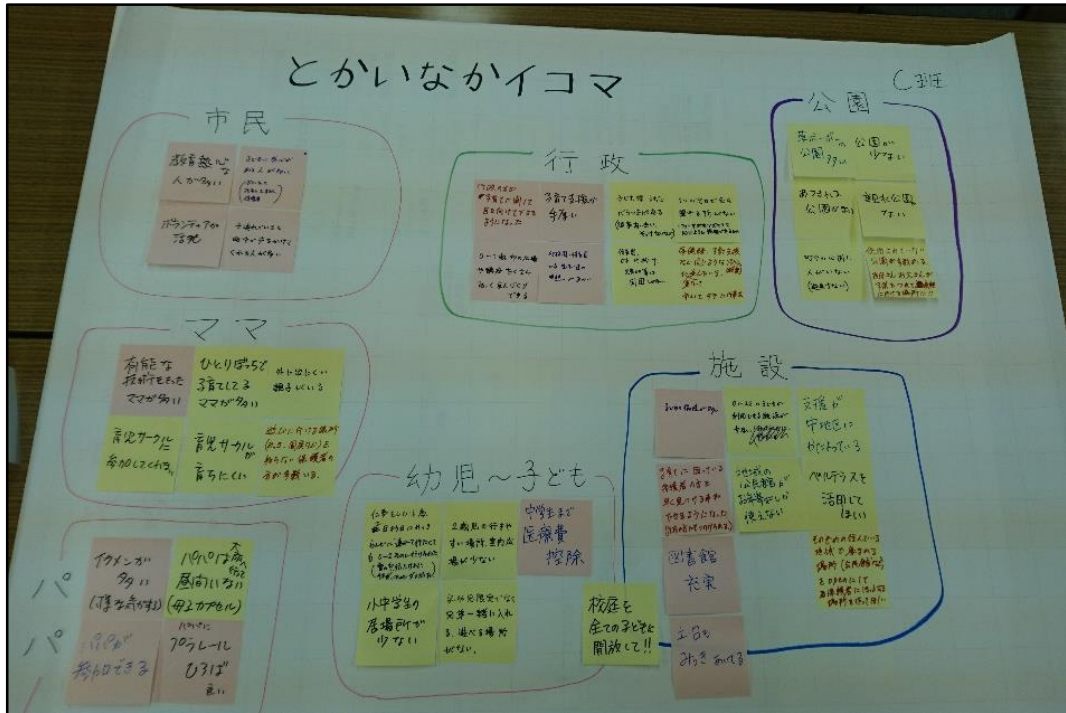
グループA (保護者)



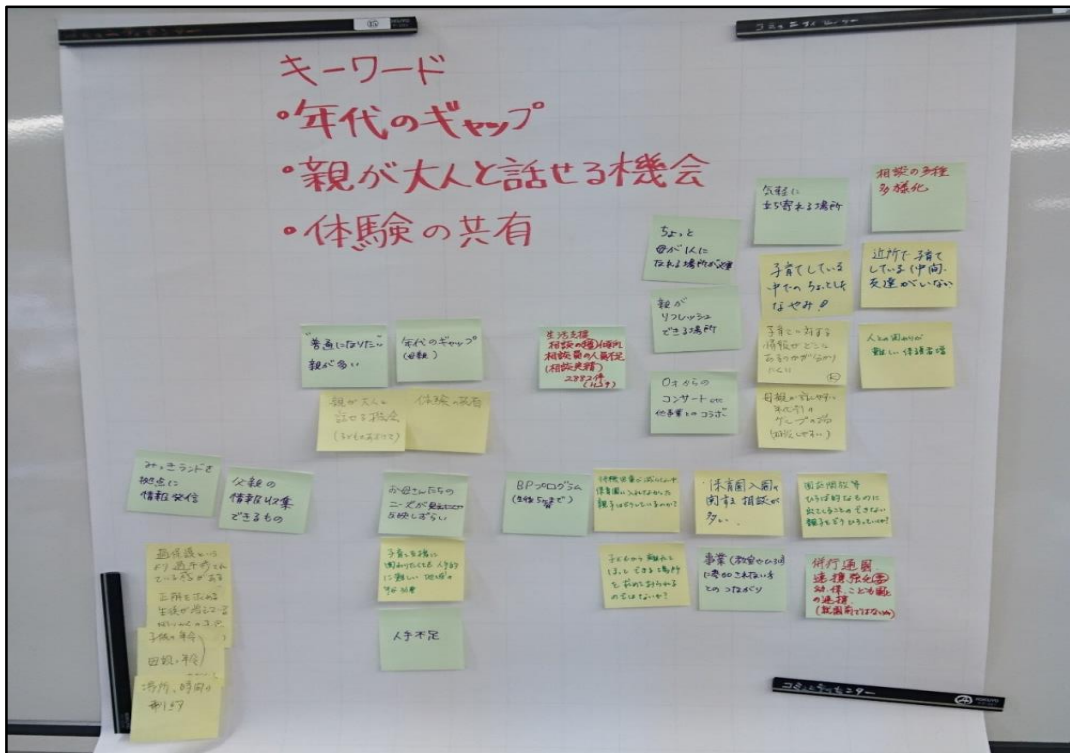
グループB (地域住民)



グループC(保育・教育関係)



グループD(市民団体)



第1回ワークショップの様子



## 2 第2回目

### (1) 目標

- ・ 支援のためのアイデアを考える

### (2) ワークの内容

- ・ 支援のニーズを確認する
- ・ 支援のアイデアを出し合う

※第1回WSをもとに、事務局で設定した2つのテーマ

- ・ 保護者と大人の交流
- ・ 子どもと大人の交流

から自由に選択してもらい、グループを編成

### (3) プログラム

- ・ 開会
- ・ 前回の振り返りとプログラムの説明
- ・ 参加者の活動事例の紹介
- ・ コーディネーターからのアドバイス
- ・ グループをつくる
- ・ グループワーク
  - ・ ニーズを確認する
  - ・ 支援のアイデアを出し合う
- ・ グループ発表
- ・ コーディネーターからのコメント
- ・ 閉会・アンケート記入

#### (4) 出された支援のアイデア

##### グループA(保護者と大人の交流)

###### ●何かするにしても情報が得られない

- ・ 情報が得られない
- ・ こども課の対応？
- ・ ネット上での情報のハブ
- ・ その人その人でおすすめの支援をさがしてあげる
- ・ ワンストップの情報サービス
- ・ 情報の出し方
- ・ 紙モノを見ない→広報のあり方！
- ・ 点が線にならない

###### ➡解決策例

- ・ 出産までの検診などでの情報キャッチ
- ・ 出産前からの繋がり

###### ●人見知り、余裕がない

- ・ 仲良しの関係がつかれないと進まない
- ・ 友達が欲しい！
- ・ 多年齢層での交流の場がないと世界が狭くなる
- ・ 子育てで他への余裕がない
- ・ 人見知りのお母さんをどうするか？
- ・ 人見知り仲介者が欲しい

###### ➡解決策例：冊子

- ・ 発達段階、月齢別の相談チャート
- ・ チャート→占い式？
- ・ 保健師さん、民生委員さん
- ・ セーフティーネット→役所内の繋がり、市民の繋がり

###### ➡全てのママに情報を届ける

●どこで情報提供する??

- ・ 全てのママが絶対に参加する所
  - ・ 自治会館、空き家
    - ・ 食べ物、飲み物
    - ・ いろんな年代の交流
    - ・ おばあちゃんも一緒に遊べる
  - ・ 市役所検診
    - ・ 窓口業務→健康課の協力
    - ・ 何か月検診の時に情報を渡す
    - ・ 出生届→窓口での情報提供
  - ・ ベビーカーで買い物が出来る距離の場所
- ・ 問題意識のある人でネットワークをつくる
- ・ お守り



## グループB(保護者と大人の交流)

地域の大人が、①家から出られる、②世代交流できる、場所づくり

### ●地域の大人

- ・ お年寄り
- ・ 先輩
- ・ 行政が(but 人手不足)
- ・ 家庭には訪問できない→民間の誰かが
- ・ 親以外の大人が

### ●家から出られる、世代交流できる

- ・ 家から出られてもらえるように
- ・ 家庭訪問してサポートできる
- ・ 世代間交流

### ●場所づくり

- ・ 自治会館
- ・ 保育園
- ・ 空き家
- ・ 幼稚園、こども園
- ・ コミュニティバス、交通手段
- ・ 自分の親世代は就労等で忙しい→地域で助け合える場所
- ・ Café
- ・ 老人クラブ？サロン？
- ・ いろんな世代の方が集まれる場所
- ・ 居心地のいい場所
- ・ サードプレイス(第3の居場所)
- ・ 大人と子どもが元気をもらえる場所
- ・ 地域の場所
- ・ 老人のつどい(地域で開催)

### ●その他

- ・ 押ししてもらう→実は助かった
- ・ 親以外の大人とのふれ合い(子どもが)
- ・ 交流できない
  - ・ 子と親
  - ・ 小グループ、精神的？
- ・ 交通(家から出やすい)

## グループC(子どもと大人の交流)

### 【問題点】

#### ●情報不足

- ・ 生駒で今日、どんな支援があるのか分からない
  - ・ スマートフォンでは見にくい
- ➡情報一元化の対応が出来るアプリ

#### ●場所不足

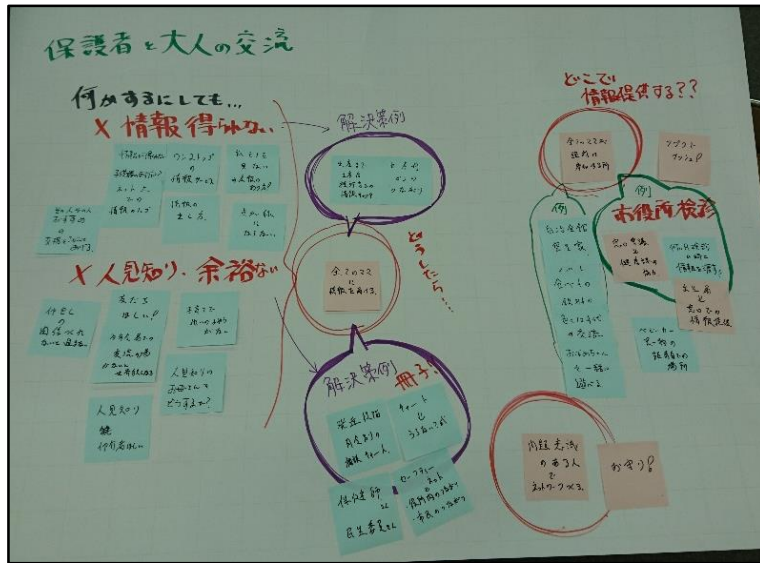
- ・ 公民館も使いにくい時がある
  - ・ 空き家→設備充実が必要(安全対策)
  - ・ 駐車場不足
- ➡幼稚園、保育園(小学校)

#### ●人材不足

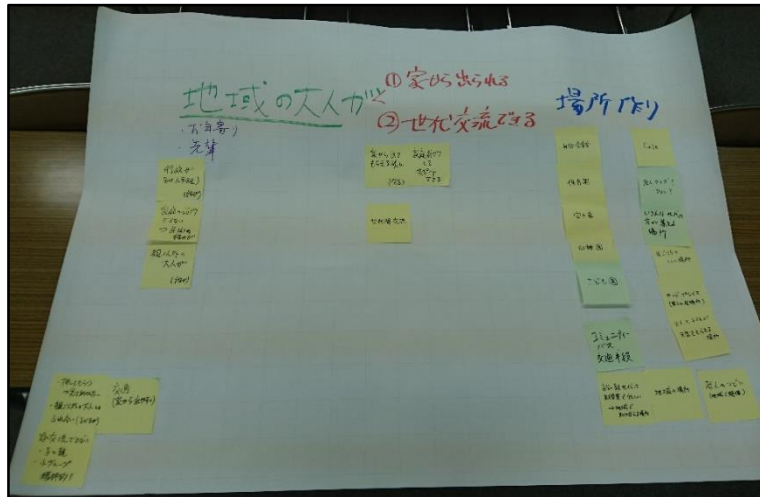
- ・ ボランティアの方は手弁当
  - ・ ボランティア人材をまとめる
- ➡・ 幼稚園、保育園の教諭、保育士のOBの方の協力(行政の財政支援が必要)
- ・ 寿大学の協力
  - ・ 活動されている団体との連携(相互協力)

(5) 成果

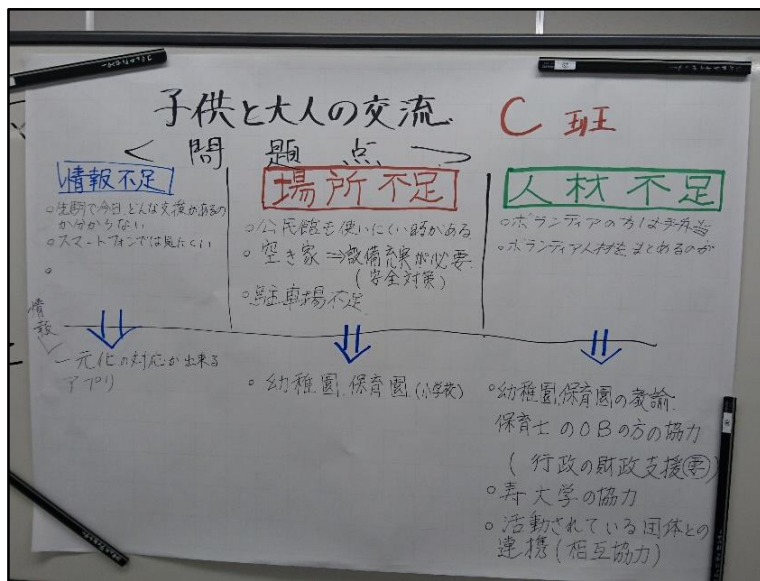
グループA(保護者と大人の交流)



グループB(保護者と大人の交流)



グループC(子どもと大人の交流)



第2回ワークショップの様子



### 3 第3回目

#### (1) 目標

- ・ 具体的な支援方策の提案をとりまとめる

#### (2) ワークの内容

- ・ アイデアを形にする方法を考える  
(何のために、いつ・どこで・だれが・何を)
- ・ 具体的方策の提案としてとりまとめる  
※第2回WS時と同じグループ編成

#### (3) プログラム

- ・ 開会
- ・ 前回の振り返りとプログラムの説明
- ・ グループワーク
  - ・ アイデアを形にする方法を考える
  - ・ 具体方策の提案として取りまとめる
- ・ グループ発表
- ・ コーディネーターからのコメント
- ・ 閉会・アンケート記入

(4) 成果

グループA(保護者と大人の交流)

第3回 WS ワークシート

取組の名称 かわいい  
**街のおせ、かい、さん**

チーム名  
チームおせ、かい、さん

1. 取組のねらい
  - ママ同士がつながるように、仲介者をつくる。
  - ママが必要な情報を得るために、先輩ママ、地域住民などがアドバイス
2. 取組の内容
  - みくろランド、健診などに待機して、サポートを必要とするママに声かけや援助する。
  - 市の事業や子育て情報を口コミレベルで伝達。
  - 単純な作業のサポートもする
  - 専門職、有資格者ではなく、一般の人、普通のママ同士での助け合いや情報交換を促進する存在になる
3. 実現のために必要なこと
  - おせ、かい、さんマーク(ビロウのたけまるくん案)  
おせ、かい、さん
  - メンバー確保。
  - おせ、かい、さんマークを必要とするマーク(シール?)
  - 最低限の子育て情報を知る講習会のような場
4. 実現に向けて私ができそうなこと
 

名前	できそうなこと
	おせ、かい、さんになる(先輩ママ)
	おせ、かい、さんになる(健診、子育てイベントに参加しサポート)
	おせ、かい、さんになる(先輩ママ)
	広報活動(民生委員の活動を通して)
	おせ、かい、さんになる
	ネットでの広報、場所提供
5. 市に手伝ってほしいこと
  - おせ、かい、さんマーク(子どもたけまる君)作ってください
  - 人員確保 PR.

第3回 WS ワークシート

取組の名称

幼稚園の空き教室を利用した託児つき地域の集い

チーム名

いしまっち

1. 取組のねらい

- ・未就園児の保護者が託児をしながら気軽に集まれる場所づくり
- ・地域の中で声をかけあえる仕組みづくり

2. 取組の内容

- ・月1回 幼稚園の空き教室で集いを行う (託児つき)
- ・川・トーク・講座 など
- ・申し込み無しで 数百円程度の参加費

3. 実現のために必要なこと

- ・周知方法をどうするか → 民生委員会の集りに出むく  
自治会回覧、広報、HP

4. 実現に向けて私ができそうなこと

名前	できそうなこと
	小学生に学習しやすいための家庭での子育て相談
	中・高世代に向けて集いの紹介、声かけ、託児集いの中心サークル活動の紹介 (いっしょの講座の場 あつた) 保護者向けの体験、親子でできる運動の提供
	1) 託児、子育て相談相手
	託児、市内の保育園・幼稚園について情報提供
	赤ちゃん訪問の周知、子育ての情報提供

5. 市に手伝ってほしいこと

- ・場所の提供
- ・周知

グループB (保護者と大人の交流)

コミュニティセンター

取組の名称

地域と人をつなげるツイッター活用

チーム名

#生駒で子育て

1. 取組のねらい

- ・情報発信と収集をつなげる。  
身近な情報を広げて共有し、有効に活用できるように...

2. 取組の内容

- ・ツイッターの講座をひらく。
- ・共通のハッシュタグをつくり、団体や市民がそれぞれつぶやく。  
↓  
#生駒で子育て ○○(地域名)

3. 実現のために必要なこと

- ・母子手帳発行時<sup>時</sup>にハッシュタグの情報をしよほに提示する。
- ・スーパー等にポスターを掲示する

4. 実現に向けて私ができそうなこと

名前	できそうなこと
	生駒の子育て情報をみつけたらUPしたり、リツイートをする
	ツイッター講座開催を提案、参加、広めていけるようにする。
	生駒の子育て情報を発信する。
	子育て情報(相談)等を発信する。
	子育て情報(Templish)等を発信する。
出っけがやばい人への 救済	支援をかける。

5. 市に手伝ってほしいこと

- ★ツイッターについての講座を開催。(幅広い年代のみなに参加を促す)

グループC(子どもと大人の交流)



第3回ワークショップの様子



### Ⅲ まとめ（各グループから出された提案）

提案された支援方策は以下の通り

#### (1) グループA（保護者と大人の交流）

<b>取組の名称</b> 街のかわいいおせっかいさん	<b>チーム名</b> チームおせっかい
-------------------------------	-------------------------

<b>1. 取組のねらい</b> <ul style="list-style-type: none"><li>ママ同士がつながるように、仲介者をつくる</li><li>ママが必要な情報を得るために、先輩ママ、地域住民などがアドバイス</li></ul>														
<b>2. 取組の内容</b> <ul style="list-style-type: none"><li>みっきランド、健診などに待機して、サポートを必要とするママに声かけや援助する</li><li>市の事業や子育て情報を口コミレベルで伝達</li><li>単純な作業のサポートもする</li><li>専門職、有資格者ではなく、一般の人、普通のママ同士での助け合いや情報交換を促進する存在になる</li></ul>														
<b>3. 実現のために必要なこと</b> <ul style="list-style-type: none"><li>おせっかいさんマーク（ピンクの子連れたけまるくん案）</li><li>メンバー確保</li><li>おせっかいさんを必要とするマーク（シール？）</li><li>最低限の子育て情報を知る講習会のような場</li></ul>														
<b>4. 実現に向けて私ができそうなこと</b> <table border="1"><thead><tr><th>名前</th><th>できそうなこと</th></tr></thead><tbody><tr><td>●●●●●</td><td>おせっかいさんになる（先輩ママ）</td></tr><tr><td>●●●●●</td><td>おせっかいさんになる（健診、子育てイベントに参加しサポート）</td></tr><tr><td>●●●●●</td><td>おせっかいさんになる（先輩ママ）</td></tr><tr><td>●●●●●</td><td>広報活動（民生委員の活動を通して）</td></tr><tr><td>●●●●●</td><td>おせっかいさんになる</td></tr><tr><td>●●●●●</td><td>ネットでの広報、場所提供</td></tr></tbody></table>	名前	できそうなこと	●●●●●	おせっかいさんになる（先輩ママ）	●●●●●	おせっかいさんになる（健診、子育てイベントに参加しサポート）	●●●●●	おせっかいさんになる（先輩ママ）	●●●●●	広報活動（民生委員の活動を通して）	●●●●●	おせっかいさんになる	●●●●●	ネットでの広報、場所提供
名前	できそうなこと													
●●●●●	おせっかいさんになる（先輩ママ）													
●●●●●	おせっかいさんになる（健診、子育てイベントに参加しサポート）													
●●●●●	おせっかいさんになる（先輩ママ）													
●●●●●	広報活動（民生委員の活動を通して）													
●●●●●	おせっかいさんになる													
●●●●●	ネットでの広報、場所提供													
<b>5. 市に手伝ってほしいこと</b> <ul style="list-style-type: none"><li>おせっかいさんマーク（子連れたけまる希望）作ってください</li><li>人員確保 PR</li></ul>														

(2) グループB (保護者と大人の交流)

<b>取組の名称</b> 幼稚園の空き教室を利用した託児つき地域の集い	<b>チーム名</b> いこままつち
--	-----------------------

**1. 取組のねらい**

- ・ 未就園児の保護者が託児をしてもらいながら気軽に集まれる場所づくり
- ・ 地域の中で声をかけあえる仕組みづくり

**2. 取組の内容**

- ・ 月1回幼稚園の空き教室で集いを行う(託児つき)
  - ・ フリートーク・講座など
  - ・ 申し込み無しで数百円程度の参加費

**3. 実現のために必要なこと**

- ・ 周知方法をどうするか→民生委員さんの集まりに出向く、自治会回覧・広報・HP

**4. 実現に向けて私ができそうなこと**

名前	できそうなこと
.....	小学生として学習しやすくするための家庭での子育て方法トーク
.....	サークルメンバーに向けて集いの紹介、声かけ。託児、集いの中でサークル活動の紹介。いこま育児ネットの講座の紹介
.....	保護者向けの体操。親子でできる運動の提供
.....	託児、子育て相談相手
.....	託児、市内の保育園・幼稚園について情報提供
.....	赤ちゃん訪問での周知、子育ての情報提供

**5. 市に手伝ってほしいこと**

- ・ 場所の提供
- ・ 周知

(3) グループC (子どもと大人の交流)

取組の名称

地域と人をつなげるツイッター活用

チーム名

#生駒で子育て

1. 取組のねらい

- ・ 情報発信と収集をつなげる。身近な情報を広げて共有し、有効に活用できるように

2. 取組の内容

- ・ ツイッターの講座をひらく
- ・ 共通のハッシュタグをつくり、団体や市民がそれぞれつぶやく  
“#生駒で子育て” ○○(地域名)

3. 実現のために必要なこと

- ・ 母子手帳発行時にハッシュタグの情報を一緒に提示する
- ・ スーパー等にポスターを掲示する

4. 実現に向けて私ができそうなこと

名前	できそうなこと
●●●●●	生駒の子育て情報をみつけたら UP したり、リツイートをする。ツイッターでもママ友をつくる
●●●●●	ツイッター講座開催を提案、参加、広めていけるようにする
●●●●●	生駒の子育て情報を発信する
●●●●●	子育て情報(相談)等を発信する
●●●●●	子育て情報(Templish)等を発信する
●●●●●	出かける事が出来ない人への援助
●●●●●	出張カフェ

5. 市に手伝ってほしいこと

ツイッターについての講座を開催。(幅広い年代の方々に参加を促す)

## コーディネーターコメント

ワークショップコーディネーター 寺田 詩子氏

それぞれ提案頂いた内容をお聞きしながら、明日から実現していくためにはどうすれば良いかを考えていました。そして、みなさんが同じような気持ちでいてくれることが分かり、とても嬉しかったです。

地域の中で集まりやすい場所を選び、自分で出来る事は何かを考えていただきたいと思います。やはり、それぞれが負担のないかたちでやっていくということが大事だと思います。無理をしてしまうと、例え1, 2回は出来たとしても、それ以降は続いていきません。小さくても、少しずつでも発展させていき、保護者の方が行ってみようかなと心楽しみにと思えるようなものが出来ると良いと思います。

そしてそれは、今回提案頂いた3つの事を組み合わせると出来るのではないかと思います。そのためには情報が必要です。もちろんSNSなどを使って出来る事もあるかと思いますが、やはり今回の提案で出てきた「おせっかいさん」という人の存在が今欠かせないと思います。私自身もこういう人のおかげで幼稚園に地域のボランティアさんがたくさん集まったという経験があります。まずは場所をつくり、自分から動ける「おせっかいさん」が出てくること、そして情報を流していくことが出来ると素晴らしいと思います。明日から動けそうな気がしてきました。いきなり全体でというのは難しいので、モデル的にやっていくのが良いと思います。当初は私も提案した時に、幼稚園の空き教室を使っていたいただいて気軽に集まっていたらと控えめな言葉で言っていましたけれど、みなさんもそう思ってくださっているということが良く分かりました。是非、行政と地域が手を取り合って進めていただければと思います。今日はありがとうございました。

## 閉会あいさつ

生駒市長 小紫 雅史

人・場所・情報という言葉が出ていましたが、これらを組み合わせると本当に面白いものが出来ると思います。まさに今回提案頂いた取組みはこれらがキーワードになっているように思います。

### ●グループC(子どもと大人の交流)

ツイッターを利用した情報発信は、今からすぐ出来る事です。生駒市の職員は約800人ですが、子育てに関わっている職員は限られています。しかし、生駒市民が協力して情報を発信すれば、それは職員が出来る事の何十倍もの効果があります。市役所では拾いきれない情報をみんなで与え合い、共有するということがとても大事だと思います。

### ●グループB(保護者と大人の交流)

市としても、人々が顔を合わせることが出来る場所をたくさん作りたいと思っています。鹿ノ台では、自然に人が溜まり、高齢者と若者の交流が生まれています。そういったきっかけは場所だけに限らず、「いきいき百歳体操」というソフト的な取組みの場合もあります。また他の例として、あすか野はスーパーがなくなり、コープの移動販売車が地域を巡回しています。これが今の地域のコミュニティになっています。そのように考えて行くと、今回提案頂いた幼稚園の空き教室活用はとてもいいですね。何よりも子育て層にとってはとても安心する場所です。これは是非モデルケースとして具体的に取組んでいきたいと思いません。

### ●グループA(保護者と大人の交流)

そして、そのような場所が出来ると“おせっかいさん”が自然と出てきます。買い物に行く間子どもを見ていてくれる人だとか、困っていたら助けてくれる人だとか、親切な人はたくさんいるはずです。

今回これほどまで魅力的な提案をして頂いて私もイメージがどんどん具体的になってきました。今日他のグループの取組みの提案を聞いてみて、協力出来ることがあれば参加してみるとか、自分は無理でも得意な人を連れてくるとか、おもしろそうと感じたことには積極的に関わっていただきたいと思いません。

これで終わってしまうということにならないように、市も具体的に動きますので、またみなさんにもそれに反応していただいて良い掛け合いの中でどんどん次の展開へ進めていきたいと思っています。みなさんどうもありがとうございました。これからもよろしく願いたします。

## 資 料

### 資料 ふりかえりシートの主な意見

- ・ 第1回
- ・ 第2回
- ・ 第3回

## ふりかえりシートの主な意見(第1回)

### Q1 このワークショップに期待することを教えてください

- ・ 住んでいる皆がイキイキして、楽しい町で子どもが育てられるよう少しでも協力出来たらと思う
- ・ もっと子育てしやすい町になること
- ・ 市の子育て支援がより良くなればいいと思う
- ・ もっと子育てしやすい環境になればと思う
- ・ ここでのアイデアが本当に実現できれば
- ・ 少しでも多くの人が支援の場に出かけられたらいいと思う
- ・ 方向性だけでなく、実現化
- ・ 子育て支援する側と支援を受けられる側がつながりますように
- ・ 市民の要望を知り、住民と行政が協働できることが何かを考えたい
- ・ 子育て中のママたちのニーズに沿って新たな取り組みができたらいいいと思う
- ・ 子の育ち、親の育ち、地域力の引き出し
- ・ 普段、生駒に対して思っていることをいろんなジャンルの方と話し合いたい
- ・ 子育て支援間での情報共有
- ・ 現実に今できる支援をしたいと思う
- ・ 実現できる、実のあるワークショップになればいいと思う
- ・ 子育て支援団体の横のつながり
- ・ ただ話すだけでなく、実のあるものになってほしい

### Q2 本日のワークショップはいかがでしたか？

#### 1 どんな出会い・つながりができたか教えてください

- ・ いつも、みつきランドで会う人達と大人の会話ができて楽しかった
- ・ いろんな立場の方とのつながりになるきっかけができ、思いが共有できた
- ・ 行政側の現場の取り組みや、悩みが知れました
- ・ 他の所属団体の方々の情報交換や交流ができた
- ・ 全く初めてお話しした方がいて、新しい出会いが持てた
- ・ 育児サークルの意見が良く聞けた
- ・ 教育関係者・保育関係者とつながりができた
- ・ 各団体の方に御挨拶できてよかった
- ・ お寺さん、会社経営者さんと知り合えた
- ・ 民生委員の方々の具体的な問題点を聞いたことで、今後のつながりを密にしたい
- ・ 近くの地域での活動、また委員として見学や研修、つながりができ、活動の助けができた



## 2 どんな新しい発見や気づきがあったか教えてください

- ・ みんな、悩んでいることは同じだと思った
- ・ 見る角度が違えば、考えることも異なるので、一緒に考えることで新たな発見につながりそう
- ・ 他の方の育児支援に対しての考えがたくさん聞けた
- ・ 支援の場に参加しないママがもっと参加できるようになったらいいと他の方も考えていたので嬉しかった
- ・ それぞれの立場で違った親子の姿を知ることができた
- ・ 色々な立場から、子育て中のお母さんお父さんの想いや支援の方の声が聞けた
- ・ 生駒は都会なようで田舎だということ 「とかいなか」
- ・ 今子育て中の方の希望など、気付かされた
- ・ 育児ネット、かるがもの会の約20年にわたる取組み、昔のお話をお聞きできて感慨深かった
- ・ 違う職種の方と話ができ、新しい気づきがあった
- ・ まだ新米主任児童委員なので、すべてが勉強になった
- ・ 緊急時の子どもの預かり等、知らなかったことを教えてもらえた
- ・ 子どもに対して愛情を持って行動されている人がたくさんおられることを嬉しく思った

## 3 どんな言葉が心に響いたか教えてください

- ・ 「つながり」は大切
- ・ D班の「親が同年代の親と話せる機会」というのはいいなと感じた
- ・ 他の地域の現状が知れて良かった
- ・ 「とかいなか」生駒は公園が良くない！？
- ・ もっと地域(近場)で交流したい
- ・ 行政側で、自分たちは取り組んでいるつもりでも市民側にすればまだ足りなかったり、思いとずれているところがあるのだと痛感した
- ・ 保護者の年代が違う
- ・ 情報発信と情報を受け取れたかどうかは異なるということ
- ・ 子ども対象ではなくて、ママ達の世代に合わせた集まり
- ・ 「子どもの未来の宝」
- ・ 生駒の行政の良さとか思いを感じられた
- ・ なかなか外に出られない、関わりを持たずにいる親子がいるのが気になるので、その点を少しでもいい方向に持っていけることを考えたい
- ・ 個人情報壁をどうするか？
- ・ 参加されている皆様が、子育てに関して熱い思いを持っておられること
- ・ 熱意を持って活動されている様子が分かり、また悩みなど共通するものがあり、もっとつながっていこうという共通の思いがあった

#### 4 どんなことが楽しかったか教えてください

- ・ 同じようなことを思っているママが多いということがわかり、親近感がわいた
- ・ 違う立場の方と話せた
- ・ 本音で話せて楽しかった
- ・ 小グループで立場も近い人での構成だったので話しやすかった
- ・ みなさんがよく色々話されていた
- ・ ママの生の声、行政以外の市内で頑張っている方々の声が聞けたこと
- ・ 今後自分が自分の立場で何かできないかと考えられたこと
- ・ 諸団体の皆さんと交流できたこと
- ・ 民生児童委員、子育て中の方の意見が聞けた
- ・ 大先輩と同伴で緊張した。先輩方の色々な意見が聞けた
- ・ 寺田コーディネーターと色々な話が出来た
- ・ 違う立場で活動されている方の話が聞けた
- ・ 問題の棚卸

#### 5 どんなことを意見交換したかったか教えてください

- ・ 次回は全時間参加したい
- ・ 孤立化しているママたちをどうするか
- ・ これから何が生駒にとって必要か、ふみ込んだ意見を聞きたかった
- ・ 普段の活動を通しての話があまり出なかったかと思.
- ・ 本当に支援してほしい人をどのようにして探すのか
- ・ 生駒市としては何ができて何ができないのか
- ・ お互いの活動をもう少し深く知りたかった
- ・ 全員の発表が終わってから、それぞれのグループに質疑や、グループで振り返りがあればよかった

## ふりかえりシートの主な意見(第2回)

### Q1 本日のワークショップはいかがでしたか？

#### 1 新しい発見や気づきがあったか教えてください

- ・ 支援の理想があっても、現実的な人員・予算・場所の問題がたくさんでてきたので簡単ではないと思った
- ・ いろんな立場の方と話せてよかった
- ・ 知らない制度や規定なども話の中ででてきて勉強になった
- ・ 親が情報はあっても、支援サービスを受けるまでには、大きな壁があった(訪問)
- ・ 色々な活動をされている人がいて、場があって、考えてくれている・良くしよう思っている人がいて、親も知る努力をしなくてはと思った
- ・ 現在の問題点が明らかになった
- ・ 民生さんの思い、地域での違いがあることを知った。(自身の地域の民生さん知らない)
- ・ 情報の発信の仕方の難しさ(発信源)
- ・ それぞれに得意なことがあって、テーマをしぼるとそれぞれのスキルが出て、とてもスムーズに話が進んだ
- ・ 地域に集える場所がたくさんあること
- ・ 情報発信の難しさ

#### 2 どんなことが心に響いたか教えてください

- ・ ボランティアをしている人はいろいろ既にやっているので手いっぱい、負担になると厳しい
- ・ 家庭訪問はいやだったけど、来てもらったら情報をもらえて、外に出るきっかけができて、実は助かった
- ・ 正月行事や文化、人生の先輩から得られるものは多いと思う。テンプリッシュのやっていることは非常に興味深い。勉強してそれを自分で説明できる力はすごいなど
- ・ 老人と子供をつなぐ、情報を提供するコーディネーター
- ・ ボランティアの方がタクシーを利用して協力して下さっている。負担がのしかかっている
- ・ 人見知りだったり、一人育児でしんどい思いをしたり、勇気をもって外に出てきた人の思いを知れて、一人でも多くの方が気分軽く過ごせたらと改めて思った
- ・ 子育て中の保護者の方に寄り添いたいと思う強い気持ち
- ・ 子育てにおいて、本当にさみしい思いをして今まで頑張ってきていることを聞いて、それをうまく乗り越えられない方に手が届くようにしたいと思った
- ・ お年寄りも楽しく
- ・ すぐに解決できないことも多いが、ともに悩み意見交換することの大切さを改めて感じ

た

### 3 どんなことが楽しかったか教えてください

- ・ 意見交換が良かった
- ・ いろんな立場からの意見が聞けて参考になった
- ・ 同じ問題意識をもって話し合いができたので、楽しかった
- ・ おとなの人と大人の話ができた
- ・ 自分が65歳になって今の仕事から新たに地域でできることあるのかな？って思えた
- ・ 色々な活動を行っておられる方がたくさんいた
- ・ 他の未就園児のママ達と感じていることが同じだったり、話しやすい雰囲気で見守りができた
- ・ 意見が次々と出てきた
- ・ みなさん、とてもすばらしい活動をされていて、一緒に何かできればとワクワクしている
- ・ 思ったことを話せる環境だったこと
- ・ 自分とは違った立場から、子育て支援を頑張っていることを知れたことがとても楽しかった

### 4 どんなことを意見交換したかったか教えてください

- ・ 具体的な取り組みをもっとじっくりと聞きたかった
- ・ 結局、未就園児を持つ親であまり外に出ていない人の対策が思いつかなかった
- ・ 生駒市として取り組んでいる支援サービス
- ・ 体育館を開放してほしい
- ・ 未収園児を預かっている方の具体的な苦勞がわかった
- ・ 今回はテーマに対する思いの支援レベルだったので、次回より深く掘り下げられたらと思う
- ・ 具体的な支援

### Q2 その他、言い足りなかったことがあれば教えてください

- ・ 場所の提供や誰が、というだけではなく、「何を」の部分をもう少し話してみたい
- ・ 個人的に問題と思っていることは、1歳2歳など、出生は生駒市以外で、途中から生駒市に来たママの友達づくりの場が少ないと思う。自分は結婚してずっと生駒でBPプログラムに参加したおかげで友人ができたけど、大きくなった方はどうしているのかなと、他人事ながら心配
- ・ 体育館を開放してほしい
- ・ 色々ありすぎて、書けなかった
- ・ テーマが大きすぎてやりにくかった

## ふりかえりシートの主な意見(第3回)

### Q1 本日のワークショップはいかがでしたか？

#### 1 新しい発見や気づきがあったか教えてください

- ・ 子育て中の方の意見が聞けた
- ・ 新しい何かをするには、人・お金・場所などたくさん必要だけど、生駒市はいろんなイベントを数多く開いていた。知らない情報もあった
- ・ 具体的な活動のきっかけができた
- ・ 様々な所属団体等の方との交流、多くの視点での考え方、気づきがありました
- ・ 情報の発信・収集の方法、ツイッター
- ・ 実際の体験談をもとにした話の中から、サポートしなくてはいけないことを探すことができて良かった
- ・ 様々な立場より、意見があり色々な話が聞けて良かった
- ・ 行政として考えること、市民とのニーズのずれを改めて感じた
- ・ 多くの方が同じ思いだった
- ・ 共通のハッシュタグを決めて使いまくるのは、大きな情報になりそう
- ・ 子育て中のママたちが、ちょっと子どもと離れて集える場所づくりの必要性
- ・ 地域と人をつなげるツイッター活用もいいと思った
- ・ 子育て中のママの気持ちや状況がわかった
- ・ ツイッターで情報発信する提案はいいなと思った
- ・ みんなが真剣に子育て世帯について考えていたこと
- ・ 色々な立場の方の意見が聞けて、前向きになれた

#### 2 どんなことが楽しかったか教えてください

- ・ 初めてお会いできた方もあり、共通な問題点、難しい点など、共有でき、通じることができた
- ・ 新しい情報を得ることができた
- ・ 現在活動されている内容をたくさん聞けた
- ・ 交流できた
- ・ 若い方の考え、意見が聞けて良かった
- ・ みんなそれぞれの時間を使って活動している中で、取組の内容や、方法は異なるが、誰かのために何かをしたいという思いが同じなのを確認できてよかった
- ・ 地域の方々とざっくばらんな話ができて楽しかった
- ・ 自分の子どもが赤ちゃんのころの子育てについて、経験が話せた、聞いてもらえた
- ・ 意見を出し合い、大変だったが1つの形にできた
- ・ 立場を超えて、意見情報が得られた
- ・ 初参加の方の意見が新鮮だった

- ・ 自分にとって何ができるのか、考える機会になった（現職を退職した自分が）
- ・ 大きな話しに膨らんだりしていて、まとまるのか？と思ったが、みんな次々に意見を出せて非常に有意義でした。同じ方向を見ている、という印象で話し合いやすかった
- ・ 同じ目標に向かって、色々と意見が出せたところが良かった
- ・ 前向きな話ができた
- ・ 世代を超えて議論できた
- ・ 生駒について話していくうちにウキウキしてきた

### 3 どんなことが心に響いたか教えてください

- ・ みなさんパワーがあり、エネルギーをいただきました。自分のことだけでなく、周囲の人々に気遣って行動されている人がたくさんおられることに感動した
- ・ 誰にでもできることでまとまったので、前回ネガティブだったのが、それぞれプラスな感想になりました
- ・ おせっかいさん
- ・ ツイッターを使った活動は今からでもできる
- ・ このようなワークショップに参加できるのは、自分自身のスキルアップにつながるという話
- ・ 小さなことでも共有、共感できることがあると人は仲良くなりやすい
- ・ 「誰かの一押しがあれば動ける」というママの生の声を聞いたこと。その一歩を一押しする役目を担う仕事をしているので、その仕事の重要さを改めて感じた
- ・ 人・場所・情報 それぞれのグループから出た意見を統合すると実現可能である。今すぐ自分ができること
- ・ 行政の方が参加されていて、本気を感じた
- ・ 子育て中のママたちが少しリフレッシュできて、それが子どもたちに返ればいいなと思う
- ・ 子ども（子育て）だけでなく、大人と話したい
- ・ それぞれの立場でやれることを自分のためにしている

### 4 職場で生かしたいと思ったことを教えてください

- ・ 知っている情報を自分だけにとどめず、どんどん発信していこうと思った
- ・ 今でもフェイスブックは発信しているが、より今のニーズにあった方法で、よりの確に発信していけるよう努力したい
- ・ 3回で得た、人とのつながりを生かしていきたい
- ・ 情報発信
- ・ 出かけにくい方を、どのようにつなげていくかが課題かと思う
- ・ 「何ができるか」よりも、「何がしたいか」に対して意見交換できてよかったので、話し合いの時間を大切にしたいと思う
- ・ 市での取組みで、何がクラブでできるかを考えていきたい

- ・ 今まで自分が培った保育士のスキルと子育て経験を活かしたい
- ・ AsMamaの活動としては、今回考案したことはリンクして実現しやすいと思うので、あちこちでふんわりとおせっかいしていきたい
- ・ 一人ひとりの困っていることを真剣に聞いてあげる
- ・ 3回のワークショップで何かを決めるときは、回数を設定することが大切だと思った

## Q2 ワークショップ全体を通して、感想や言い足りなかったことがあれば教えてください

- ・ 様々な立場の方との交流ができるきっかけをくださり、ありがとうございました。自分ができることで少しでもお役にたてればと思う
- ・ 市長が来てくださり、力強い意欲を感じた
- ・ 多方面でご活躍されている方々との交流の機会をいただきありがとうございました
- ・ 気になっていても、それぞれの立場の方のお話を聞くことが無かったので、今回参加して良かった
- ・ スタートの時点から、もう少しこのワークショップの意図を伝えていただけると助かります
- ・ 他のチーム方ともお話ししておきたかったが、人数が多いので仕方ないですね。今後の活動に、いいつながりを作っていきたい
- ・ A班で出来そうなことがあるので、少しでも実現したいと思う
- ・ 私の子育て（幼かった時）を思い出して、何を助けてあげられるか？を思い返したり、子育て中のママから意見を聞いて良かったです
- ・ 貴重な場に参加させていただき、ありがとうございました。何か市のためにできることがあれば、また参加したい
- ・ 自分も発信側になろうと前向きな気持ちになった